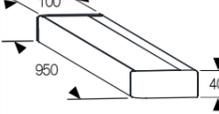


## 定格表

本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

器具タイプ (配光種別)	カタログNo./型番	使用電圧 周波数	入力電流	消費電力	調光仕様	LED光源 タイプ	質量	被照射面 限度距離	器具寸法	材質・仕上げ
ブラケット タイプ 	K-650W/ 39KU-02B0-3W (常夜灯有り)	100V 50/60Hz	0.61A	61W	PWM調光制御 5~100%	温白色タイプ (3500K)	3.7kg	0.1m		カバー: アクリル セミクリア 本体: アルミ 白色塗装
	平均演色 評価数 (Ra) 90					常夜灯LED 電球色タイプ (2600K) ※K-650Wのみ				
	K-651W/ 39KU-03B8-2W (常夜灯無し)									

## 調光について

- 調光範囲は5%~100%です。
  - 調光用コントローラは、専用のものをご使用ください。
  - 調光用コントローラによっては下限値で光がちらつくことがあります。下限設定可能な調光用コントローラをご使用ください。詳細についてはお問い合わせください。
- ※常夜灯は調光できません (K-650Wのみ)。

## 保守とお手入れ

**注意** 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

- LEDユニットの寿命は、約40,000時間です。
- LEDユニットの寿命は照度が初期値の70%に減退するのにかかる時間です。寿命を超えても点灯し続けますが、十分な性能が得られませんので、あらたな器具の施工をおすすめいたします。



## お願い

- ◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。
- 汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら柔らかい布で仕上げてください。
- ◇ぬれた手で器具にさわらないでください。**感電するおそれ**があります。
- ◇点灯中及び消灯直後のLEDユニット周辺にさわらないでください。**やけどをするおそれ**があります。
- ◇カバーなどのお取扱いの際には、必ず両手で静かに行ってください。



お読みになりましたら、この取扱説明書はいつでも見られる所に大切に保管してください。

アフターサービスのお問合せ



商品に関するご相談及びお問合せは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店・工事店へご連絡ください。部品についてのお問合せは「部品名称」のイラストをご参照ください。

お客様相談窓口

弊社ホームページのお問合せフォームより  
ご相談ください。

<https://www.yamagiwa.co.jp/contact/>

※お電話によるお問合せは承っておりません。



## 取扱説明書

## SLIM BED HEAD BRACKET



このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださり誠にありがとうございます。この説明書をよくごらんのため、正しく取り付け、正しくご使用ください。お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

ご注意：電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

### 目次

- 1ページ：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意、お願い
- 2ページ：各部のなまえと取付かた
- 3ページ：取付寸法、照明器具ご使用についての安全上のご注意
- 4ページ：定格表、調光について、保守とお手入れ、アフターサービスのお問い合わせ

## 照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

### 警告

火災のおそれがあります  
◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。  
◇電気工事は電気設備技術基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。

落下によるけがのおそれがあります  
◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。  
◇器具の取付は、取付場所（壁）の強度を確認し、質量に耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。  
◇器具は指定の取付方向にしたがって取付けてください。

感電のおそれがあります  
◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。



火災のおそれがあります  
◇器具の取付の際は屋内配線をはさまないでください。

落下によるけがのおそれがあります  
◇取付部のまわりに極端な突出部のあるところに器具を取付けないでください。  
◇傾斜した壁面に器具を取付けないでください。

### 注意

- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は**法律で禁止**されています。
- ◇施工は取扱説明書にしたがって確実に行ってください。施工に不備があると**落下・感電・火災の原因**となります。
- ◇器具を改造しないでください。**落下・感電・火災の原因**となります。
- ◇取付けた器具を説明書に従わず無理に引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下によるけがの原因**となります。
- ◇表示された電源電圧（**定格電圧±6%**）以外の電圧で使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇この器具は専用調光器にて調光が可能です。専用調光器以外には接続しないでください。**火災の原因**となります。
- ◇器具の使用環境温度は**5~35℃**、湿度**85%以下**の場所に設置してください。誤って高温の場所に設置しますと**火災の原因**となることがあります。
- ◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇灯具の着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。**落下によるけがの原因**となります。
- ◇器具取付の際は、壁紙・クロス貼り等の接着剤等が十分乾燥してから器具を取付けてください。メッキや塗装等の**変色・さびの原因**となります。

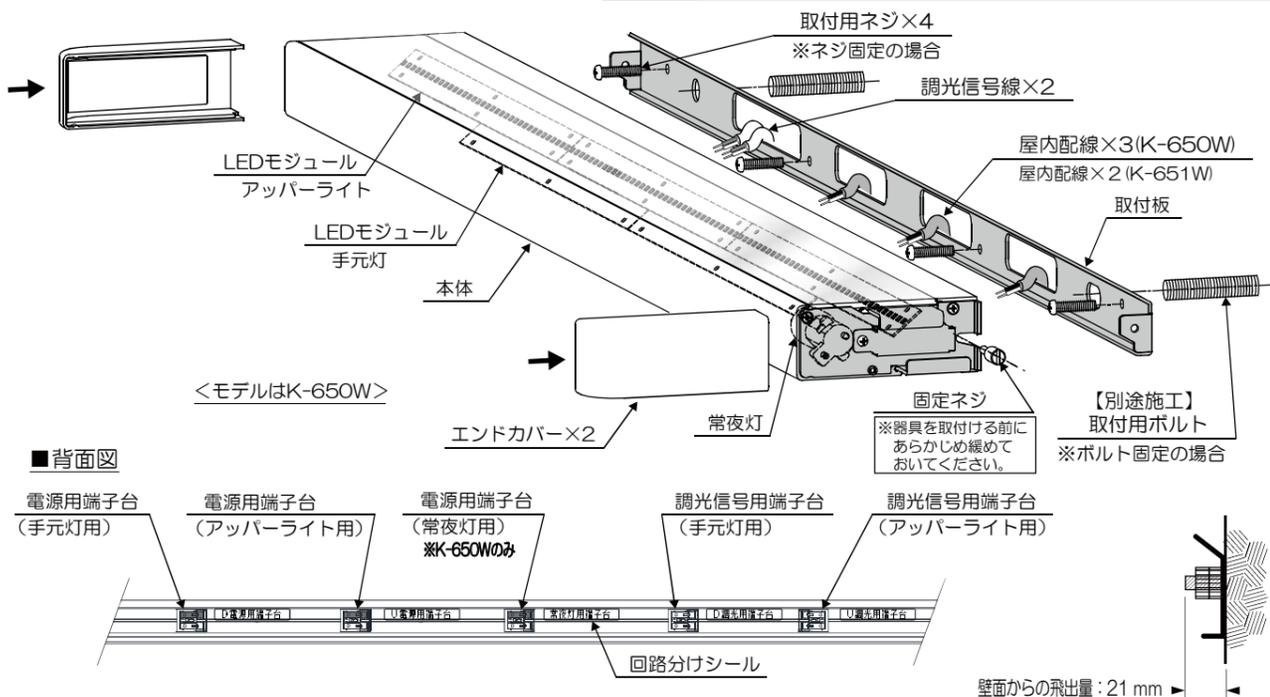
### お願い

電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

## 各部のなまえと取付けかた

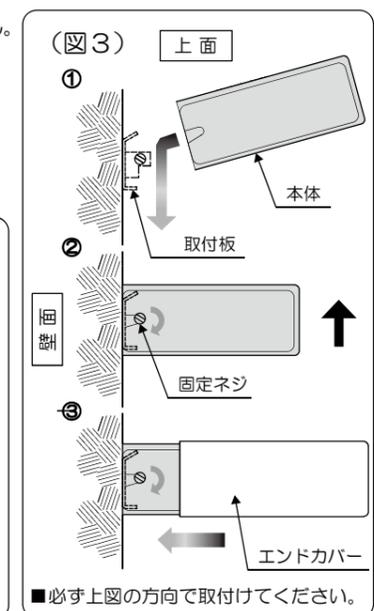
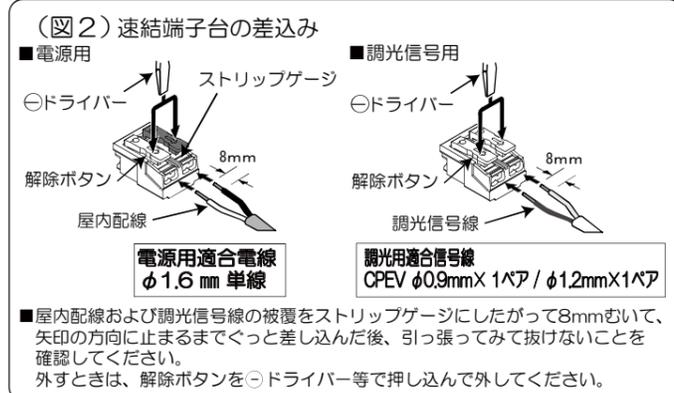
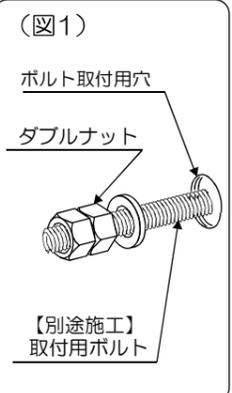
(図は器具を省略、抽象化したものです)

**注意** 必ず電源が切つてあることを確認してから、作業を開始してください。

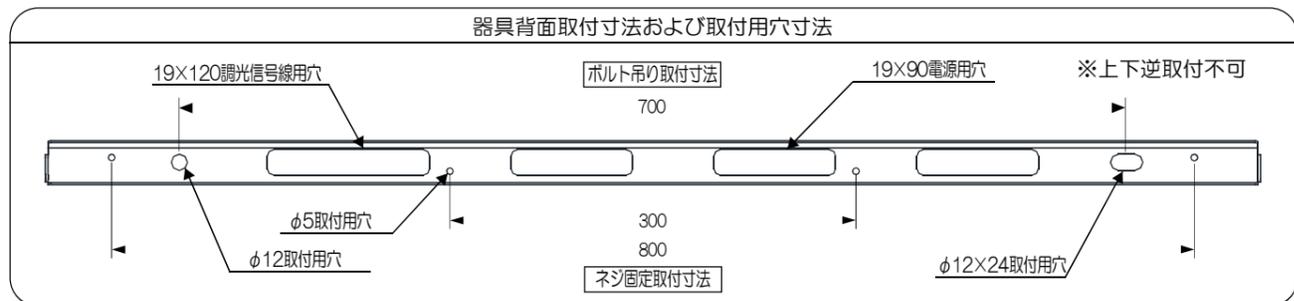


### ■背面図

- 取付まへの確認をする**  
取付部の壁面強度は器具質量に十分耐えるようにします。強度が不足する場合はあらかじめ補強工事をおこなってください。取付壁面は、極端な凹凸や突起が無い状態に仕上げてください。また、取付工事を開始する前に、屋内配線への電源を必ず切っておいてください。不備がありますと**感電・不点灯・器具破損の原因**となります。
- 取付板を取付ける (図1)**  
取付板は取付用ボルトもしくは同梱の取付用ネジで壁面に固定します。3ページの「取付寸法」にしたがい、取付方法と取付方向を確認し確実に固定してください。取付用ボルトによる取付の場合は必ずダブルナットにしてください。不備がありますと**器具落下の原因**となります。
- 屋内配線および調光信号線を速結端子台に接続する (図2)**  
あらかじめ本体内部に取付板の通線用穴から屋内配線および調光信号線を引きこんでおいてください。取付壁面側に屋内配線および調光信号線を納められない場所での取付の場合は、引き込みが長すぎると本体の取付が困難な場合があります。(20 cm程度まで)  
それぞれの被覆を速結端子台上のストリップゲージにしたがってむいて、本体内部の速結端子台の差込穴に確実に差込みます。速結端子台は電源用と調光信号用があります。差し込み間違いのないよう回路分けシールにてご確認ください。不備がありますと**火災・感電・不点灯の原因**となります。  
※この器具は送り接続に適合していません。  
※電源用電線φ2.0 mm 単線はご使用頂けません。
- 本体を取付ける (図3)**  
器具周辺に障害物の無いことを確認します。器具の上面に障害物があると本体の取付ができません。次に本体を取付板上部の形状に引っ掛けながら取付板に合わせ固定ネジで確実に固定します。このとき、引きこんだ屋内配線および調光信号線を本体ではさまないように注意してください。不備がありますと**感電・器具落下の原因**となります。  
最後にエンドカバーを矢印の方向にスライドしてはめこみます。カチッと音がするまではめこんでください。不備がありますと**器具落下の原因**となります。



## 取付寸法



- 施工のまえにご確認ください。
- 取付部の強度は器具の質量に十分耐えられるようにしてください。強度が不足する場合は、あらかじめ補強工事が必要です。不備がありますと**器具落下の原因**となります。
  - 器具は必ず、凹凸のない平坦な壁に設置してください。
  - 器具周辺に障害物のないことを確認してください。
  - 器具の上面に障害物があると器具・筐体の着脱ができません。
  - 壁の通線用切込穴は上記寸法を参考にいただき、できるだけおおきく開けてください。

## 照明器具ご使用についての安全上のご注意

### 警告

!	感電のおそれがあります ◇器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。	
!	感電・火災のおそれがあります。 ◇異常時(煙が出たり、変な臭いがする時)には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。	
⊘	感電・火災のおそれがあります。 ◇器具及び部品の改造をしないでください。 ◇器具のすきまに、異物(金属類や燃えやすい物等)を差し込まないでください。 ◇器具を濡らさないでください。また器具を濡れた手で取り扱わないでください。	
🔥	火災のおそれがあります。 ◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。 又揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。 ◇断熱材・防音材でおおわないでください。	

### 注意

- ◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に(6ヶ月に1回程度)清掃、点検してください。器具の**ネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないか**をお調べください。
- ◇3~5年に1回は、**電気工事店等の専門家による点検**を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。
- ◇照明器具には寿命があります。設置して**8~10年**経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。必ず点検・交換をしてください。
- 点検せずに長時間使い続けると、**感電・火災・発熱・性能劣化のおそれ**があります。(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯。JIS C8105-1解説による)周囲温度が高い場合、連続点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- ◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。不備がありますと、**器具の変形や火災の原因**となることがあります。
- ◇LEDの光色・明るさには若干の個体差があります。あらかじめご了承ください。
- ◇この器具のLEDユニットの交換は、**修理扱い**になります。詳しくは、この器具をお求めの電気店、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。
- ◇無理に器具を分解して一般のLED素子と交換しないでください。**火災・発熱・器具破損の原因**になります。
- ◇器具の保守・お手入れ等で、無理に器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下によるけがの原因**となることがあります。
- ◇カバーなど部品の着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。不備がありますと、**落下によるけがの原因**となることがあります。
- ◇器具に物をのせたり、引っ掛けたりして使用しないでください。**器具落下・変形の原因**となることがあります。
- ◇器具周辺では、ラジオやテレビ等の音響・映像機器に雑音が入ることがあります。あらかじめご了承ください。